

相良村川辺川魅力創造事業 × くまもとアートポリス × 川辺川アカデミア

相良中学校キャリア教育講演会&ワークショップ 将来の川辺川の風景をかたろう！



川 辺 川 ア カ デ ミ ア
KAWABEGAWA ACADEMIA

開催日 2026.6.15 13:50 ~ 15:50

概要

場 所

・相良村立 相良中学校 体育館

主 催

・相良村立 相良中学校

参加者

・相良中学校
1年生 31名
2年生 34名
3年生 39名
教員 9名
・相良村に関わる行政機関
・大学・民間企業 34名

計 147名

参加した機関

機関	部署
相良村	相良中学校
	企画商工課
	教育委員会
熊本県	河川課
	建築課
	球磨川流域復興局
	球磨地域振興局 工務課
川辺川ダム砂防事務所	調査設計課
熊本大学	工学部土木建築学科
	地域風土計画研究室
民間企業	建築設計者
	土木設計者
	環境コンサルタント

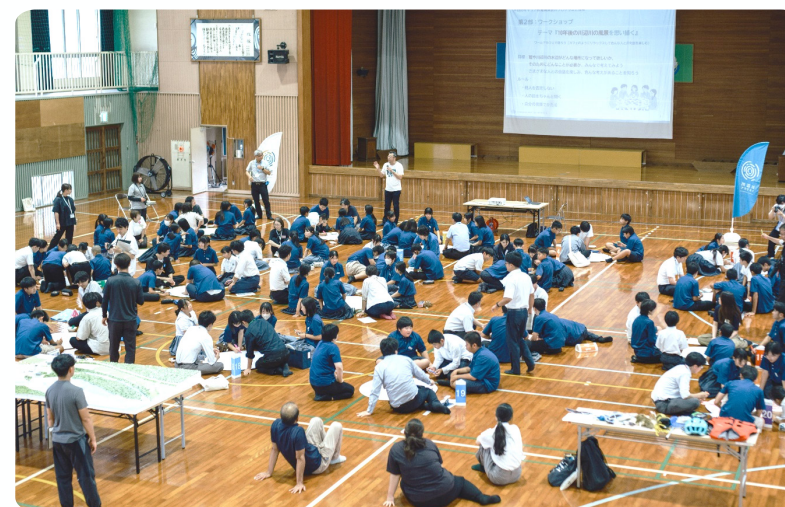
プログラム

項目	内容
開会	開会挨拶（相良中学校 那須教諭）
事業・取組紹介	①川辺川魅力創造事業の紹介 （相良村企画商工課 課長 佐竹淑子さん）
	②川辺川アカデミア等の紹介 （川辺川ダム砂防事務所事業対策官 宮脇正彦さん）
講演	③「川辺川先生から何を学びたいか？」遊びから学ぶかわまちづくり （熊本大学准教授 田中尚人さん）
	④川辺川と相良村の営みをつなぐ建築をめざして （本岡伊藤アーキテクト二級建築士事務所 一級建築士 伊藤祐紀さん）
ワーク ショップ	自己紹介・ワールドカフェ 1ラウンド（10年後の川辺川の風景を思い描こう）
	ワールドカフェ 2ラウンド（10年後の川辺川の風景を思い描こう）
	ワールドカフェ 3ラウンド（そのために必要なことを考えよう） ふりかえり・記念撮影
閉会	開会挨拶（相良中学校 那須教諭）

2026年6月15日、相良中学校の体育館に147名が集結、熱気あふれる「大作戦会議」の場に変身しました！

相良村の未来を担う中学生全学年を対象に、「川辺川アカデミア」としてキャリア教育講演会&ワークショップを開催しました。テーマはズバリ「将来の川辺川の風景をかたろう※！」。川辺川の魅力を活かした「かわまちづくり」の最前線で活躍する大人たちのリアルな声を聞き、自分たちならどんな水辺にしたいか、ワクワクするアイデアを語り合いました。中学生も大人も一緒になって村の未来を描いた、大盛況の一日をレポートします！

※かたろ：「語る」の他に熊本弁で「仲間になる」の意味もある



【事例紹介 Input】：相良村×川辺川のかわまちづくり

相良村の川辺川魅力創造事業

- 日本一の宝物を活かす！
未来につなげるむらづくり



相良村役場の佐竹淑子さんは、「未来につなげるむらづくり」を紹介。相良村では、令和2年の豪雨災害を乗り越え、村の宝である「川辺川」の魅力を最大限に活かす「川辺川魅力創造事業」が進んでいます。どこにもない唯一無二の清流を体感し、人が集い、親しむ新たな交流拠点「めぐっと川辺」（廻地区）のオープンに向け、大人たちも全力で意見を出し合い、「川の茶会」イベントでのSUP・サウナや川・森体験など様々な実証実験を重ねてきました。「川辺川」を核にした村のブランドづくりへの熱い想いが、生徒たちにしっかり伝わっていました。

川辺川アカデミア

- 川辺川が教室・先生になる！
中学生に学んで欲しいこと



川辺川ダム砂防事務所の宮脇正彦さんは、「川辺川アカデミア」を紹介。川辺川アカデミアは、大自然の川辺川そのものを「偉大な先生・学校」とし、みんなで学びをつくる、2024年から始まった取組です。私たちのふるさとにはどんな魅力があるのか？それを守り、楽しむために何ができるのか？皆さんが川に投げる「興味の石」から「問い」を立て、実際にフィールドへ出て「体験」し、仲間と「共有」する。この探究学習を通じて、川辺川の豊かな生態系や自然と人とのつながりを楽しく深く学ぶプロジェクトの全貌が紹介されました。

相良村に暮らすみんなの目標

【第6次相良村総合計画】

〔基本構想〕相良村の目指す姿

- 01 ブランド力のある村
- 02 川辺川の魅力が広がる村
- 03 子どもの未来を地域で育てる村
- 04 安心・安全な生活を支える村
- 05 高齢者がいつまでも現役の村
- 06 豊かさが循環する村



相良村企画推進課 2026.6.15
相良中学校キャリア教育講演会

当時の中学生からの意見

（問）これからも相良村に住みたいですか？

- ・住みたい 65%
- ・相良村以外に住みたい 34%
- ・未回答 1%

（問）これから相良村はどんな村になればいいと思いますか？

- ・住んでいる人が幸せにすごせて住み続けたいと思う村
- ・村民がいきいきと活動できる村
- ・にぎやかな村（活気あふれる明るい村）
- ・いろいろな人と交流できる村
- ・もっと若い人が活躍できる村
- ・村外から来る人がもう一度来たいと思う村
- ・いつまでも自然が守られ美しい村
- ・子どもから高齢者まで便利で過ごしやすい村 など

（問）相良村にあったらいいなあと思うものはありますか？

- ・お店（居酒屋・スーパー・コンビニ・雑貨店・駄菓子屋・本屋等）
- ・遊び場（公園・カラオケ・遊具等）
- ・スポーツ施設（バッチャングセンター等）
- ・だれでも気軽に立ち寄れるカフェ
- ・図書館
- ・冷暖房が整備された勉強もできる施設
- ・子どもが楽しめる、いろいろな人と交流できる施設
- ・村の良いところを眺めることができる場所 など



相良村企画推進課 2026.6.15
相良中学校キャリア教育講演会

川辺川魅力創造事業

本日の講師
田中先生！

3年間実証実験を実施
川・森体験（茶会・ピクニック・サウナ・船やな・キャンプ等）

基本計画を策定

- 基本方針1 川辺川を核とした拠点づくり
- 基本方針2 村民の活力・営みの持続に繋がる水辺づくり
- 基本方針3 村民の伝統・産業の持続に貢献するコトづくり
- 基本方針4 川辺川の自然環境・景観持続の取組づくり

大作戦会議

相良村企画推進課 2026.6.15
相良中学校キャリア教育講演会

川辺川アカデミアとは

川辺川アカデミアとは、19年連続水質日本一の川辺川を「先生」として、それぞれが価値を見つけ、みんなで学びをつくる取組。2024年から始動。



川辺川とその地域の価値を
継承し、伝え、学びの柱をつくり、
地域を元気に。

川辺川アカデミア

相良中学校×川辺川での体験学習（R7年の授業の様子）

川辺川アカデミア授業では、調べたいことや調査方法を自分たちで考え、現地で川の水や生きものと触れ合う体験を通して探究します。



川辺川アカデミア

フィールド学習（生物・水質） 2

川辺川アカデミアとは

川に、興味の石を投げてみよう



川 辺 川 ア カ デ ミ ア
KAWABEGAWA ACADEMIA

川辺川アカデミアのロゴは、水面に石を投げたときに広がる波紋だ。一つの問いが、一つの体験が、静かに、しかし確かに広がっていく。そのイメージそのものがアカデミアの目指す姿。当たり前の、すぐ足元にある川に、興味の石を投げてみる。誰かの興味をきっかけに何かはじまり、つながり、広がっていく。

川で学び・遊びながら、ふるさとを好きになる川辺川のファン・サポーターの輪がひろがる

川辺川アカデミア

【講演 Input】：廻のかわまちづくりと水辺建築の秘密

「川辺川先生から何を学びたいか？」
遊びから学ぶかわまちづくり

● みんなで大作戦会議！ 相良村ならではのかわまちづくり

土木史やまちづくりを専門とする熊本大学の田中尚人さんからは、「遊び」から始まる「かわまちづくり」のヒントや楽しみ方が伝授されました！講演では、豪雨災害からの復興や少子高齢化といった地域の課題解決を、職員や村民が一体となって実現する道標になった「大作戦会議」の熱い歩みや、熊本各地の「かわまちづくり」「MIZBERING」の事例を紹介。さらに、伝統や守るべきふるさとの軸を大切にしながらも、新しい変化を恐れずに取り入れていく「不易流行」の重要性が語られました。



川辺川と相良村の 営みをつなぐ建築をめざして

● 人と川をつなぎ、記憶を伝える 水辺建築に込めた匠の技と想い

熊本県「くまもとアートポリス」のコンペを勝ち抜き、廻の水辺交流拠点施設の設計を手掛ける建築家の伊藤祐紀さんからは、建築の秘密が明かされました。

「建築は人・想い・風景をつなぐ仕事」。建物の屋根を相良の山の形に合わせたり、過去の水害の浸水高を設計に取り入れ災害の記憶を伝えたりと、村の歴史と自然に寄り添う工夫が満載！相良村の歴史や自然への愛がギュッと詰まった設計の裏側に、「建築家ってカッコいい！」「施設ができるのが楽しみ！」と、仕事としての「建築」に興味を持つ生徒も現れました。



相良村川辺川大作戦会議とは

1. 災害復興（令和2年7月豪雨災害）
 2. 少子高齢社会の地域課題解決
- を「川辺川魅力創造事業」という、みんなで作る「大きな流れ」にする大作戦会議



川辺川らしいプロジェクトづくり

- ①情報共有を考える「川辺川へのドア」チーム
2班 みんなでつくる、未来につなげる今の川辺川マップ
1班 川のなか、安全性、をみんなで発信
- ②川へのアクセスを考える「川辺式水辺の入り口」チーム
3班 駐車場と洗い場が大切、いろいろな案内！
4班 「さがるのこ」として、深く伝えよう！アクセスがよい
めぐることで、経済も人も環境も変わる
- ③水辺の拠点と仕組みを考える「川のほむら」チーム
1)観光と環境を両立するやな場、2)村民と観光客が交流できる仕組み
5班 「川のほむらで、何しよう！」「世代をこえた川遊び、
一年を通じて、川辺川（山も川も味も）を楽しむ、食育
6班 川辺川の魅力の継承：体験、ふれあい、食、発信（循環）
年間を通して、いつも何かしている、という状況に

1. 人・想いをつなぐ



小河川と向かい合う十本河川が見えるかたち



相良村でつくる



第2部：10年後の川辺川の風景を思い描こう！中学生全員でワークショップ



自分の言葉でかたろう！



ワールドカフェで席移動！



そのアイデア楽しそう！



川辺川でやってみたい
ことがいっぱい！



廻の施設ができれば
どんなことしたい？

ワークショップ：10年後の川辺川の風景を思い描く

テーマ：『10年後の川辺川の風景を思い描く』

目標：・廻や川辺川の水辺がどんな場所になって欲しいか、そのために
どんなことが必要か、みんなで考えてみよう

・さまざまな人との会話を楽しみ、色んな考えがあることを知ろう

形式：ワールドカフェ(カフェのようにテーブルを囲んで会話を楽しむ)

ルール：・他人を否定しない

・人の話をちゃんと聞く

・自分の言葉でかたろう

ファシリテーター：熊本大学准教授 田中尚人さん

川辺川で、相良村でやってみたい！中学生発案のアイデア

講演の熱気も冷めやらぬまま、第2部は全校生徒シャッフルによるワールドカフェ形式のワークショップへ！各テーブルでは様々な仕事で相良村に関わる大人も混ざり、「川辺川でこんなことやってみよう！」「廻の施設にこんなのがあったらいいな」と、年齢の壁を越えて自由な発想が次々と飛び出しました！そして、20班の円形模造紙には、中学生ならではのワクワクする夢や実現のアイデアがびっしり書き込まれました。

100人以上が一緒に「かたる」初のワークショップ。生徒にとって、将来のキャリアや村づくりについて考える良いきっかけになったようです。10年後の川辺川に彼らがどんな風景を創り出してくれるのか、本当に楽しみです！



ワークショップでの中学生の意見

ワークショップでは、中学生と大人が輪になって、将来の川辺川や相良村への夢をかたりました！
特に川遊び・アユ・水切りなどのワードがでてくるのはさすが相良っ子！中学生のアイデアの一部を紹介します。

●こうなったらいいな！こんなことしたい！

- ・10年後もきれいな川であって欲しい・安全な川になって欲しい・たくさんの生きものがいてほしい・人と人を繋げる川にしたい・みんなを笑顔に！・釣り・飛び込み・水切り・カヌー・SUP・ウォータースライダー・BBQ・キャンプ・サウナ・祭り・花火大会・星空・スイカ割り・川魚の寿司屋・アユを焼く・地域のものを食べる・生物を調べる・友達やペットと遊ぶ・本を読む

●そのために必要なこと

- ・ごみを捨てない・川をきれいに・自然はそのまま・魚を増やす・人がたくさん集まれる場所・川を整備して安全に・小さい子も遊べる浅い場所・遊び場を増やす・休憩場・水族館・飛び込み台・散歩コース・川が見えるレストラン・お茶カフェ

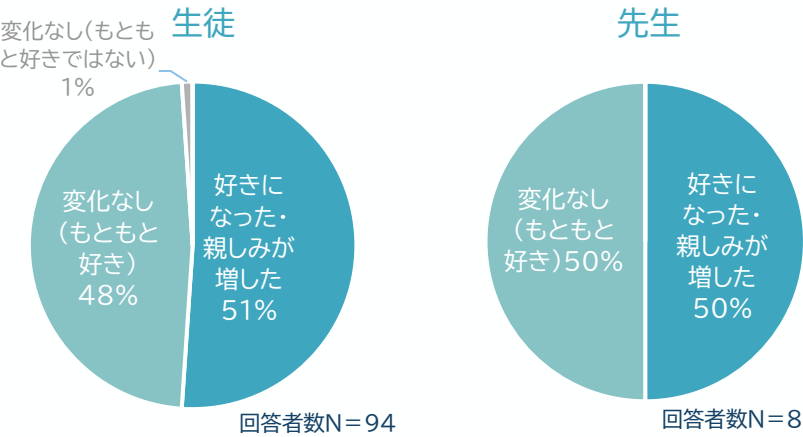


模造紙に綴られた
中学生の想い（抜粋）

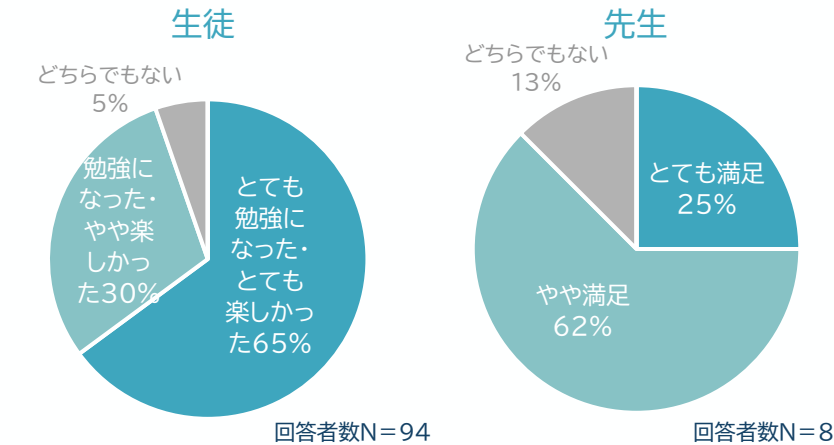


参加者の声（アンケート結果 全体の感想）

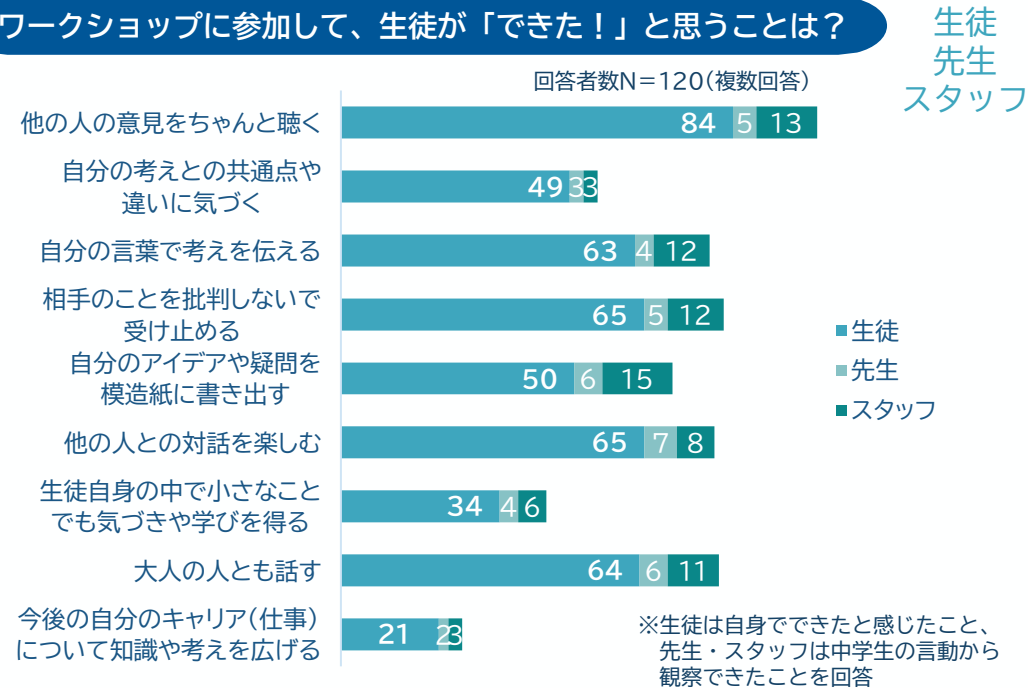
今回の経験をしてみて、相良村や川辺川への感じ方に変化はあった？



参加した満足度は？



ワークショップに参加して、生徒が「できた！」と思うことは？



ワークショップの感想（抜粋）

生徒

- ワークショップであんまり喋ったことがない人とコミュニケーションが取れた
- 色んな人と交流できた
- 皆の川でしたいことが分かりました。自分では思いつかないことが他の人の意見を聞いて分かりました。
- 掛け算が大切、発想力が広がった
- 自分たちでいろんな班の所に行きいろんな学年とたくさん書き足したこと
- 川辺をより良くする為にはみんなが意見を出し合うことが大切だという事がしれました。
- みんなと楽しく学べた
- 私は、講演会でたくさんの人と交流できたし、意見を深めることができました。
- 大人のひととも喋ることができたので良かったです。
- めっちゃたのしかったです!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
- 相良村のことが好きになりました



生徒の声（アンケート結果 講演の感想）

田中さんの講演を聴いた感想（抜粋）

生徒

心に響いたコトバ

- ・ 「 $1 + 1 = 2$ になるけれど $1 \times 1 =$ もっといい1になる」
- ・ 「川辺川先生から学ぶ」（理由：身近だからこそ学ぶことがたくさんあると感じた）
- ・ 「遊ぶことも勉強」
- ・ 「人と人をつなぐ川」
- ・ 「川辺川という偉大な先生が相良村にはある」（理由：これからも川辺川について友達と意見を深めていきたいと思った）
- ・ 「先生は生徒で後輩に伝えていく（先生徒）」（理由：後輩に伝えていくことによって川辺川の素晴らしさが伝わって行くから）
- ・ 「川辺川がきれいということ」（理由：自分は他の川で泳いだことがあるけど、いろんな人から見てもやっぱり川辺川はきれいなんだと思ったから）
- ・ 「川がきれいで、緑に囲まれた素晴らしい村」（理由：当たり前だと思っていたけど、相良村のすごさに気付いたし、どうしたら守っていけるかを考えるきっかけになった）
- ・ 「相良を変えるため、どんな意見でもいいです」
- ・ 「人の意見をしっかり聞いたり、自分の意見は持つこと」
- ・ 「話し合うことより大切なのは話を聞くこと」
- ・ 「みんなが話し合うことで変わっていく」

感想

- ・ 言葉がわかりやすく、川辺川がどれだけすごいかわかった。
- ・ 川辺川を大切にしたいと改めて思いました
- ・ 身近に日本一の川があってもっと知りたいと思った。
- ・ 1つ1つを丁寧に教えてくださったので川の良さを知ることが出来ました。
- ・ 川辺川でまなべることが多いことを知りました。
- ・ サップなど川には、もっと多くの遊びやイベントもあるらしいのでこれからは、積極的に参加したいです。理由 興味が湧いたから
- ・ 川辺川の印象が変わった。川の魅力を知った。
- ・ みんなが真剣に話を聞いてくれていたのが嬉しかった

伊藤さんの講演を聴いた感想（抜粋）

生徒

心に響いたコトバや設計の工夫、感想

- ・ 建設家は人をつなぐ仕事と知りました。私も将来、人を繋げられる人になりたいです。
- ・ 「人と人がつながる」、「人と人をつなぐかわ」
- ・ 「建築で人を笑顔にする」
- ・ 「建築は、住みたい人がいて成り立つ」
- ・ つながりが大事だと思いました
- ・ 建築士や設計士の思いや大変さが分かりました。
- ・ 設計士の凄さがわかった
- ・ 建設家に興味を持った
- ・ 建築のことを初めて知ってやってみたいと思った。
- ・ 設計士は村のことも考えているんだなと思いました
- ・ 1つの建物を建てるだけでこんなにも大変なことを知りました。
- ・ 廻の建築物の工夫をたくさんしている。
- ・ 「川辺川へ導くようなつくりをしている」（理由：建物にも色んな思いが込められていると知って、興味が湧いたし、すごいと思ったから）
- ・ 今までに起こった水害やこれから起こる水害のことも考えて作っているとわかった。（理由：設計図に水害の来る位置が書いてあったから）
- ・ 川や、道に沿って建物を建てていたりして地形をすごく大切にしているんだなと思いました。
- ・ 建物の床の高さが浸水時の高さと一緒にだったりハザードマップに載っているL1, L2の高さにしているということ
- ・ 屋根の形地域の特色に屋根や建物を合わせるのがすごいと思った
- ・ 相良村の木を使って屋根などを作る。
- ・ 相良村の特徴をつかった妖怪みたいな演出を考えてたこと
- ・ 高校生の最初の2年間は授業を受けず遊んでいたけど、建築家の講演を聞いて勉強するようになったこと。（理由：人は何かがきっかけで変わるんだなと思った）
- ・ 建築科に入っても最初は授業を受けてなかったことややっぱりだれでもそういう時期があったのかとすこし安心できた
- ・ 新しい建物の設計が一番印象に残りました。
- ・ めぐりに建物を作って皆さんがいきやすくしてくださりありがとうございます

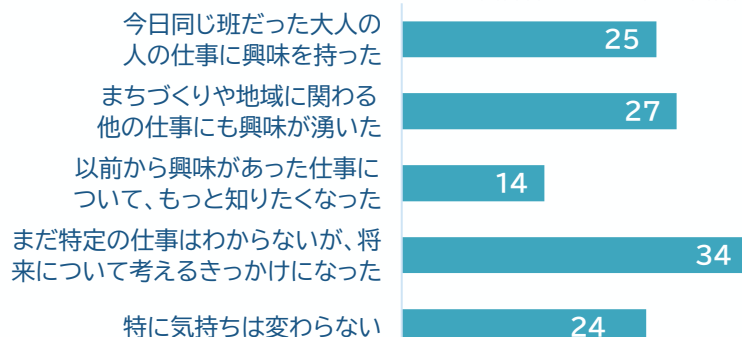


生徒の声（アンケート結果 将来のキャリアや関わり）

今日のワークショップで大人のひとと話してみて、
仕事や将来についてどう感じた？

生徒

回答者数N=94(複数回答)



具体的に興味を持った仕事や将来やってみたいことは？（抜粋）

生徒

- ・ 建築（×8名）大工（×4名）土木（×2名）
- ・ 相良がもっと豊かになるように建設してみたい
- ・ 皆が過ごしやすい環境を作りたい
- ・ 人の役に立てる、仕事をしたいです
- ・ 建物のデザインをする仕事が楽しそう・家のデザイナー
- ・ 公務員・Youtuber（×2名）英語の先生
- ・ 川辺川のスペシャリスト
- ・ 特産物を使ったレストランや売店で食べるや川で遊ぶなどをしてみたい
- ・ 川辺川の、水質を調べてみたい
- ・ 川辺川であゆとかを食べたい
- ・ サウナをして川に飛び込みたい
- ・ 川辺川について知り、実際にいろいろなことを体験したいです。
- ・ 相良や川辺川についてもっと調べてみたくなった
- ・ 廻りの施設はぜひ行ってみたい。また、もっと川と触れ合おうと思いました。

特に共感した・印象に残った・学びにつながったことは？（抜粋）

生徒

行動したいと思えたこと

- ・ 10年後も川辺川を守っていくために少しでもなにかの力になりたいと思いました。
- ・ これからも川辺川について考えて、相良村に残りたいと思えるような村作りを仲間と協力してしていきたいです。
- ・ 川辺川に興味を持ってもらうように私達ができることを考えたいと思いました。
- ・ 少しでも相良村が発展できる取り組みをしたい
- ・ 色んな人が相良村のために頑張ってくれていると知り、なにかできることをしてみたいと思ったし、相良村についても知れてもっと誇りを持てました。
- ・ もっと、相良村を良くしたい
- ・ 相良村を変えていきたいです。
- ・ 盛り上げたり、宣伝などをして、支えたいです
- ・ いろんなひとが幸せで暮らして行けたらいいなと思いました
- ・ 水質日本一の川がすぐそこにある きれいな川辺川が近くにあるからこれから守っていこうと思った
- ・ 相良村の川をもっと綺麗に使っていきたい
- ・ 川を大切にしたいです・自然を大事にする
- ・ 他の県の川もきれいにしたい

共感・学びにつながったこと

- ・ みんなが相良村を良くしたいと思うこと
- ・ 災害のあと、大変だったんだなと思った。
- ・ 川は怖いこともあるし、良いこともあることを学びに繋ぐことが出来ました。
- ・ 川辺川は素晴らしい所、川のすごさがわかった。川辺川がとても綺麗なことにとても共感した。
- ・ 相良村のみんなが利用できる場所というキーワードがとてもいいなとおもいました
- ・ 未来の川辺川に人がたくさんいることが想像できて楽しみになってきました。
- ・ みんなが相良村を良くしたいと思って活動してたのがわかった。
- ・ 私は相良村に住んでいるけど川辺川について、あまり知らなかったのでこの機会に知ることができて嬉しかったです。
- ・ 初めて知ることがたくさんあり、とても良い学びになりました。
- ・ 建物の完成が楽しみです。

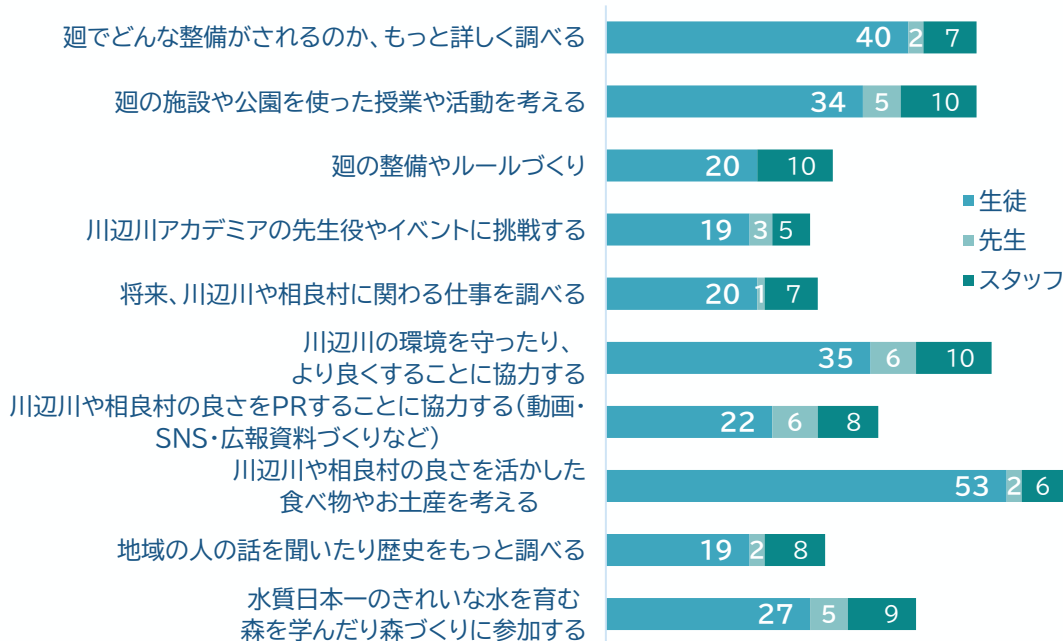


生徒・先生・スタッフの声（アンケート結果）

今後の授業や課外活動で、生徒がどのように川辺川や相良村に関わる機会があると良いと思う？

生徒・先生・スタッフ

回答数N=120(複数回答)



※生徒は自身で関心があること、先生・スタッフは生徒の学びの機会があると良いと思う事項を回答

講演で印象に残った言葉（抜粋） 先生

- ・ 問いを立て、生徒が考えないといけないという言葉。生徒自身が問題解決の中心にいないといけないと理解した。
- ・ 川辺川に対して「先生」と言っていたこと。自然に対しても学ぶ姿勢を思い出させてくれた。
- ・ 数学等の学びと仕事の関わりを話していただき、必要感を感じた生徒も多かったと感じる
- ・ 人と人をつなぐ仕事と言う事です
- ・ つながり（理由：人と人だけのつながりだけでなく、建物や風景とのつながりもあるから）
- ・ つなげるという言葉。（理由：人間的でとても好きな言葉だから）

ワークショップ・全体の感想（抜粋）

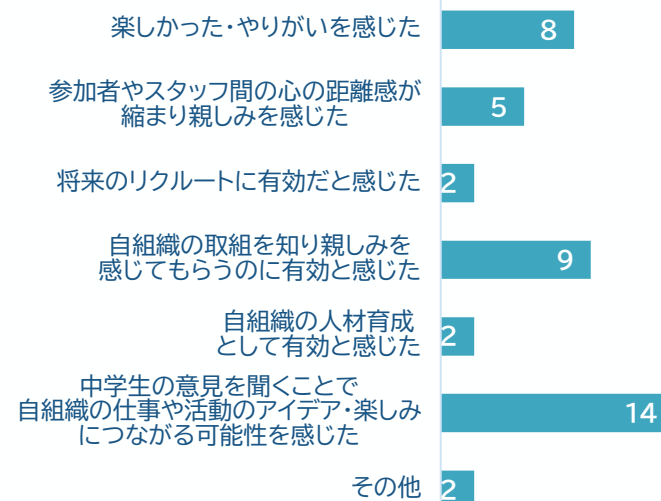
先生

- ・ 初対面の人とも思った以上に交流ができていた姿に感心しました。
- ・ グループ移動などで、人を見て移動している（嫌いな人、好きな人、同じ人とセットで移動する）とは思えなかった。自由に思うように移動し、学年を越えて気さくに話をしていた。
- ・ 子どもの自由な発想は良かった。無いものねだりな部分は多かったように思う。
- ・ 自分の考えを話せるようになっていた。
- ・ 地域のために子どもたちにも出来ることがあるということ
- ・ フィールドワークによって自らの故郷の良さを改めて知ることができること
- ・ いろんな想いがあって川辺川アカデミアが進められていることに感謝いたします。
- ・ 未来の姿のイメージと、川とのつながり、向き合っている
- ・ 川辺川から学ぶことは沢山あると思う。
- ・ イメージを膨らませることの大切さ。それが未来につながる。

本日のプログラムに参加して
どのような手ごたえや可能性を感じた？

スタッフ

回答数N=18(複数回答)











相良村関連情報

熊本県 くもとアートポリス 相良村川辺川魅力創造事業交流拠点施設設計

「川辺川魅力創造事業基本計画」に基づき、川辺川の魅力を村内外に発信し、川辺川を中心とした周辺環境・地域資源を活かした地域活性化・関係交流人口の増加につながる拠点（「めぐっと川辺」等）の整備を進めています。



相良村 さがらムーブ

19年連続で水質日本一に輝く川辺川が貫流する、熊本県相良村で始まった新プロジェクト。
産業支援、広報戦略、移住定住、人材育成まで、外部クリエイターとともに総合的に仕掛けます。
合言葉は、動く、創る、進む。
本気で変わるぞ、相良村。



川辺川アカデミア 仲間募集中！

川辺川アカデミアは、川辺川の豊かな自然を資源に様々な学びへ活かす取り組みです。あなたも一緒に取り組んでみませんか？

性別・年齢問わず、色々なジャンルの先生・生徒を募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください。

川辺川アカデミア
お問い合わせ先

国土交通省
川辺川ダム砂防事務所
(とりあえず)



【協働制作】

田中尚人 准教授（熊本大学）
伊藤祐紀（本岡伊藤アーキテクツ一級建築士事務所）
相良村

【制作協力】

撮影：Isamu Yamamoto

